

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「絆・つながり」を強化する交流拠点整備事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県出水市

3 地域再生計画の区域

鹿児島県出水市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状と課題】

(地理的・自然的特性)

鹿児島県出水市（以下「本市」という。）は、鹿児島県北西部の八代海に面した出水平野に位置し、温暖な気候、広大で肥沃な平野、豊かな水と緑、海・山の自然環境に恵まれたまちです。

本市には、毎年1万羽を超えるツルが渡来する世界的な越冬地（国の特別天然記念物に指定）や、江戸時代に要衝の地として薩摩藩最大の外城が置かれた出水麓武家屋敷群（国の重要伝統的建造物群保存地区に選定）を有しており、往時の面影が今も残る「ツルと歴史のまち」です。

産業構造は、地理的条件を活かした農業と、連関する食料品製造業・食料品卸売業が売上高の上位を占めています（2016 経済センサス）。

本市では、温暖な気候を生かして、スポーツ合宿やスポーツ大会の誘致に取り組むため、現在「スポーツ合宿等誘致推進補助金」を設け、積極的な誘致に取り組んでいます。しかし、体育施設の老朽化や雨天時の対応等が十分整っておらず、スポーツを通じた関係人口の継続に課題があります。

(人口)

本市の人口は、平成7年には58,655人でしたが平成27年には53,758人（国勢調査）となっています。国立社会保障・人口問題研究所による人口推計に

においては、令和 22 年には 40,696 人と 40,000 人台を切る寸前までになると推計されており、今後も人口は減少し続ける見込みです。

また、年少人口の減少や、高齢者の増加により、それぞれの地域で担い手が不足し、コミュニティの維持・存続が困難になり、地域の絆が失われてしまいかねない状況です。そこで、世代別に縦割りで区分した対策ではなく、誰もが活躍できる地域社会をつくるために、横断的な活動を支援する交流拠点施設が必要になっています。（交流人口）

本市では、「産業振興・しごと創出」、「結婚・出産・子育て」、「定住・交流促進」の 3 つの方向で施策を展開しましたが、計画期間である 5 年間で本市の人口は国立社会保障・人口問題研究所が推計した人口を上回る結果となったものの、人口減少に歯止めをかけることには至っておらず、今後も取組の結果を踏まえて、定住人口の増とともに、関係人口、交流人口を増やし地域経済の活性化を図るため、継続的に施策を展開する必要があります。

このような中、本市が取り組んできたスポーツ合宿等の誘致によるスポーツ関係者の延べ宿泊数は、平成 27 年度が 8,320 人だったのに対し、平成 30 年度は 5,580 人と減少傾向にあり、（地理的・自然的特性）に記載したとおり、体育施設の老朽化や雨天時に対応できる施設等が十分整っていないことが挙げられ、これまでのようなスポーツ合宿等の誘致に対する施策だけでなく、合宿地として選んでもらえるような、魅力的な施設を整備し、スポーツを通じた関係人口の創出に取り組む必要があります。

【目標】

本計画では、世代を横断する活動を支援する交流拠点の整備（屋根付き市民ふれあい広場整備事業）や、民間団体との協働により地域資源として当たり前のよう存在していた東光山の魅力を高める取組（東光山花見山公園化事業）、さらには、スポーツ大会や合宿等の利用を促進するため、全天候型の陸上競技場の整備（陸上競技場全天候化事業）を通じて、定住人口の増加や関係人口、交流人口の創出を図るとともに、地域内外の絆・つながりを強化し、地域の魅力を高めることで、10年後・20年後の「住みたいまち・行きたいまち出水市」を目指します。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
「絆・つ ながり」 を強化す る交流拠 点整備事 業	純移動数 (転出者数－転入者数)	△11人	0人	基本目標4
	屋根付き市民ふれあい広場 利用者数	0人	150,000人	基本目標4
	東光山花見山公園協力・連携 団体数	0団体	5団体	基本目標4
	陸上競技場利用者数	56,828人	70,000人	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

「絆・つながり」を強化する交流拠点整備事業

- ア 屋根付き市民ふれあい広場整備事業
- イ 東光山花見山公園化事業
- ウ 陸上競技場全天候化事業

② 事業の内容

ア 屋根付き市民ふれあい広場整備事業

出水市内に約2,400㎡の屋根付き広場を整備する事業。

子どもから高齢者まで様々な世代が交流する場としての活用や、イベントの誘致・開催、スポーツ大会・合宿等での活用など、これまで本市に無

かった空間を整備することで、地域内外の絆・つながりを強化し、定住人口、交流人口の増加を図り、少子化に歯止めをかけます。

イ 東光山花見山公園化事業

東光山はソメイヨシノ等が植栽されており、春は多くの観光客が訪れるスポットですが、その他のシーズンに咲く花等が少なく魅力が活かして切れていないため、東光山西側斜面に市民や民間企業と連携して四季折々の草花や花木が楽しめる魅力的な空間を創出し、観光スポットとしての持続性を確保することで、交流人口の増加、地域経済の活性化を図ります。

ウ 陸上競技場全天候化事業

現在グリーンサンド舗装の陸上競技場を全天候型に整備する事業。

市民の健康増進や競技者の競技力向上に加え、本市の温暖な気候を生かした合宿誘致や大会誘致等を通じて、地域内外の絆・つながりを強化し、定住人口、交流人口の増加を図り、少子化に歯止めをかけます。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

510,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度5月に、3月末時点のK P Iの達成状況を企画政策課が取りまとめ、出水市まち・ひと・しごと創生推進会議を構成する有識者等や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめ、毎年度ホームページで公表します。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで